社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金 令和06年11月27日

計画の	名称 埼玉県地域住宅等整備計画(重点計画)(第4期)												
計画の	期間 令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)							重点配分対	象の該当				
交付対	象 埼玉県												
計画の	目標 誰もが安心して安全に暮らせる住まいづくり推進する	0.0											
全体事	事業費(百万円) 合計(A+B+C+D)	1,896 A	0 D	の 効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D) 0 %									
			1,896 B	0 C C	勺指標)		1						
			<u>'</u>	TIME PROPERTY (ACTUAL)	3111/00/		定量的指標の現況値及び目標値						
番号		当初現況値	中間目標値	最終目標値									
	定量的指標の定義及び算定式							111411311	令和07				
1	住生活の安心を支えるサービスと連携した住宅セーフティ	ネットの確保(高齢者施設や		************************************	賃貸住宅の		l						
	高齢者施設や子育て支援施設等を併設した100戸以上の公	的賃貸住宅の割合の向上					10%	%	12%				
	(100戸以上の公営住宅のうち高齢者施設や子育て支援施	設等を併設した団地数) / (	100戸以上の公営住宅団地	也数)									
2	住宅セーフティネットの確保(公営住宅のバリアフリー化	(率の向上)						•					
	公営住宅のバリアフリー化率の向上						58%	%	76%				
	(バリアフリー仕様の住宅戸数) / (管理戸数)												
								T.					
									1				
	1												
	備考等		個別施設計画を含む -	- 国土強靱化を含む		定住自立圏を含む	- 連携中枢都市圏を含む -	- 流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む -				
	price of the												

1

A 基幹事業																		
		事業	地域	交付	直接		<b>番則 1</b>	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/				(年度)	全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別		間接		/里万月 1	性力 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	R03	R04	R05 F	R06 R07	(百万円)	便益比	策定状況
			一体的に実施することにより期待される効果															
		備考																
地域住宅計画に基づ	A15-001	住宅	一般	埼玉県	直接	埼玉県	_	_	公営住宅整備事業	大宮植竹団地 他	さいたま市					1, 896	0.82	策定済
く事業																		
											小計					1, 896		T
				1	1							-						
											合計					1, 896		
																,		
						T	1					1						
																	<u> </u>	
			I		1			I	T	<u> </u>		1						
			_		_			_				_						
					·		•				'							
																	-	
			1		1		1		l									
																		T

## 交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R03	R04	R05	
配分額(a)	162	79	437	
計画別流用増△減額(b)	0	0	0	
交付額(c=a+b)	162	79	437	
前年度からの繰越額(d)	0	46	79	
支払済額 (e)	116	46	213	
翌年度繰越額(f)	46	79	303	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	
不用額(h = c+d−e−f)	0	0	0	
未契約繰越率+不用率(i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場				
合その理由				

## 事前評価チェックシート

計画の名称: 埼玉県地域住宅等整備計画(重点計画)(第4期)

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
★①計画の目標が基本方針と適合している。	0
I. 目標の妥当性	
★②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	0
I. 目標の妥当性	
★③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	0
I. 目標の妥当性	
★④関連する各種計画(住生活基本計画等)との整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性	I
★①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	0
II. 計画の効果・効率性	
★②十分な事業効果が得られることが確認されている。	0
II. 計画の効果・効率性	
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	0
II. 計画の効果・効率性	
④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	0
II. 計画の効果・効率性	
⑤事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	0
III. 計画の実現可能性	
★①事業熟度が十分である。	0
III. 計画の実現可能性	I
★②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	0
III. 計画の実現可能性	
★③地域住宅計画を公表することとしている。	0
III. 計画の実現可能性	I
④地域住宅協議会等、関係地方公共団体等の意見調整の場が設けられている。	0

## 社会資本総合整備計画 参考図面

